

課題番号 6

基本方針：Ⅱ		課題名：スマート農業技術の導入による軟弱野菜の生産性の向上	
対象：宇陀市ホウレンソウスマート農業推進協議会、宇陀市伊那佐東部地区スマート農業推進協議会		計画期間：R 3～R 5	事務所名：東部農林振興事務所
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R 4年度末）	
①遠隔灌水システムを活用した営農技術体系の確立	・遠隔灌水システム導入実証圃設置と生育調査 ・検討会の開催、情報提供	灌水管理コスト20%削減マニュアル化 遠隔灌水システム導入ハウス 15a → 30a 灌水時間83%削減 マニュアル案作成	
②環境モニタリングによる生産安定	・環境モニタリングデータ解析 ・検討会、勉強会の開催	ミズナ出荷量20%増 ミズナ地域平均反収 1.1 t →	

総合評価（コメント）
<p>A：6名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■先進地視察など、目的をもってしっかりと取り組んでいただいている点に好感がもてました。②についても、課題や解明点が明確になっていると思いました。 ■費用対効果が見えない状況ですが、方向性としては有益だと感じました。 ■年ごとに違う天候等の変化に応じたデータ収集が今後も必要と思う。息の長い活動になるものと予想されるが、重要な取り組みであるため継続した指導をお願いしたい。 ■スマート農業の実現に向けて、成果が上がる事に期待したいです。 ■スマート農業技術の導入の普及活動はおおむね適切であり、課題を解決に向けて活動を続けてほしい。 ■課題に記載されているように費用対効果の評価も期待したい。

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none"> ■環境モニタリングのデータ集積については、来年度も継続する。 ■遠隔灌水システム導入マニュアル及び環境モニタリング活用マニュアルを作成し、その中に課題の解消策や導入コスト、導入効果についても盛り込む。